



岩手県教育研究所連盟事務局
岩手県立総合教育センター
〒025-0395 花巻市北湯口2-82-1
平成21年6月17日発行 第10号
www1.iwate-ed.jp/kenkyouren/



県教連の一層の連携を

岩手県教育研究所連盟 会長 藤原 忠雄

(岩手県立総合教育センター所長)

昭和33年に発足した当連盟も、今年度52年目を迎えることとなりました。県内各地の教育研究機関相互が密接に連携し、教育に関する調査・研究を充実させ、もって本県教育の推進向上に寄与するという目的のもと、今年度も各地域の実態に応じた教育の実現や普及に努めてまいりたいものと存じます。

昨年度は、5月の定期総会、9月の所員研修会、そして1月の岩手県教育研究発表会に、皆さまより多大なるご協力をいただきました。

特に、2日間の延べ参加者数が2,115人を数えました県教育研究発表会におきましては、7研究所から11主題の発表をいただき、おかげさまで充実した研究発表会にすることができました。この場をお借りして、心から厚く感謝申し上げます。

さて、ご存じのとおり、今年度から新教育課程が先行実施され、また教員免許状更新講習制度が始まり、教育改革がいよいよ本格始動します。免許状更新講習につきましては、岩手県では教員研修体系を改め、当総合教育センターを主な会場とした「授業力向上研修」として実施することになりました。その実施に向け、現在準備を進めているところであります。

さらに、先月には3回目の全国学力・学習状

況調査が実施されましたが、昨年度の調査結果からは、本県児童生徒、学校の課題がいくつか浮き彫りにされ、中でも、学力向上と家庭学習の改善が喫緊の課題となっております。

このような教育をめぐる激しい環境の変化を背景に、県内の各教育研究所がそれぞれの課題や成果を共有し、協議・研修する場を設けていくことができますことは、まことに意義深いことと考えております。

ところで、全教連では毎年教育課題研究協議会を行っておりますが、来年度(平成22年度)は岩手大会となり、当総合教育センターが主管機関としてここ花巻で開催いたします。そこで、県教連も所員研修会を兼ねて共催するという方向で進めてまいりたいと考えております。全国から集まる方々をお迎えし、会を盛り上げるべく、ご協力を賜りますようお願いいたします。

今後とも皆様のご意見をいただきながら、本連盟のより一層の連携を図るために改善してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

終わりにりましたが、県教連各加盟機関のさらなる発展を祈念いたしまして、挨拶いたします。

■平成21年度定期総会の報告■

平成21年5月13日(水)、県立総合教育センターにて、平成21年度岩手県教育研究所連盟定期総会及び研究協議会が開催されました。

定期総会では、昨年度事業の報告並びに今年度事業予定の承認がなされました。研究協議会は、全体会I・IIで総合教育センターから情報提供を行い、それをはさみ分科会を行いました。

定期総会で決定された役員は右のとおりです。また、各分科会及び全体会の協議等の様子は2面に掲載しました。

□平成21年度岩手県教育研究所連盟役員□

会 長	藤原 忠雄	総合教育センター所長
理 事	作山 雅宏	盛岡市教育研究所長
	今野 充雅	花巻市教育研究所長
	佐藤 公好	奥州市教育研究所長
	皆川 耕助	総合教育センター研修部長
監 事	川村 秀彦	紫波町教育研究所長
	上杉 則篤	矢巾町教育研究所長
事務局	総合教育センター企画調査担当	
	鈴木 利典	主任研修指導主事
	菅原 桂吾	研修指導主事
	鎌田 雅之	研修指導主事
	佐々木 真	研修指導主事

■ 平成21年度研究協議会 ■

今年度の研究協議会も、事務局として加盟機関の活動に役立つ情報を提供するという観点から、二つの分科会を間にはさんで、全体会Ⅰ・Ⅱで総合教育センターからの情報提供を行うという日程で実施しました。それぞれの様子の一部を紹介します。

■ 全体会Ⅰ ■ 「Gベース学習サイト」・「岩手教育情報交流ネット（いわて交流ネット）」の紹介

総合教育センター情報教育担当の奥田昌夫研修指導主事、同企画調査担当の鈴木利典主任研修主事を講師に、同センターが作成した教材「Gアップシート」を活用して開発した「Gベース学習サイト」(<http://www1.iwate-school.jp/common/>)、及び県内の学校教育関係者を結ぶ「岩手教育情報交流ネット（いわて交流ネット）」について、参加者が実際にコンピュータ画面を操作して体験し、それらの利便性や活用法について研修しました。



■ 第1分科会 ■ テーマ『学力分析・家庭学習に関する分科会』



第1分科会では、11教育研究所から、昨年度取り組んだ事業の成果と課題、及び今年度の主な計画について紹介されました。その後、学力分析について、主に標準学力検査の実施を中心に協議が行われました。分析の方法について、岩手県学習定着度状況調査結果と関連させている例、検査実施後の取り組みとして、分析チームの構成を工夫し小中連携して具体的な授業提案を行っている例や小間毎の分析をもとに独自のテストを作成して実施している例等の実践報告をもとに、様々な視点から意見交換がなされました。家庭学習への取り組みについては、本年度の学力向上プランとして位置づけ単年度の取り組みを行っている盛岡市から現状の紹介がありました。

いずれについても、学校や教師が意欲をもって自発的に取り組むように工夫することが大切であるとの認識を共有しました。

■ 第2分科会 ■

テーマ『所員研究・所員研修に関する分科会』

9教育研究所が参加した第2分科会は、昨年度の活動状況や今年度の活動計画について、特色的な取組が紹介され、情報交換を行いました。その後、研究発表会の在り方を全員参加型に変えるため、発表会に求めるテーマを教員から提出してもらい、ニーズに沿った発表会に変えていったとの実践報告をもとに、参加意欲を喚起する発表会を運営するうえで、教員のニーズ把握が重要との認識を共有しました。



■ 全体会Ⅱ ■ テーマ『授業力向上研修（免許状更新講習）について』



全体会Ⅱでは、総合教育センター企画調査担当の佐々木真研修指導主事が、今年度本県で免許状更新講習として行われる授業力向上研修の概要について説明しました。

県として実施する趣旨及びこれまでの経緯、講座内容に加え、複雑なシステム上の課題やそれらに伴う留意事項、特に教職員への一層の周知の必要性等について話され、理解を深めてもらいました。

- ◆ 閉会行事では、藤原会長から、9月の所員研修会、2月に移った県教育研究発表会への参加についてのお願ひがあり、共に岩手の教育を高めていくという基本姿勢が確認されました。

ワンポイント 掲示板

全体会 I で参加者に実際に体験していただいた「G アップシート・G ベース学習サイト」<http://www1.iwate-school.jp/common/>につきまして、概要、アクセスの記録等を総合教育センター情報教育担当に以下のようにまとめていただきました。

1 「G アップシート」とは

中学校の3教科（国語、数学、英語）において身に付けさせたい『中核となる力』を「いわてスタンダード」として平成18年度に当センターで作成しました。これをもとに作成した評価問題が「G アップシート」です。中学校国語・数学・英語3年間の全学習内容（各学年各教科約70枚）のプリントがあります。（Web 公開 498 枚）

2 「G ベース」とは

「G アップシート」をブラウザ上で学習できる教材です。答えを入力して「解答」ボタンをクリックすると正答が表示され、正しい場合には○が表示されます。記述式解答、選択式解答に対応しており、分数の入力、グラフの描画なども可能です。「採点記録」をクリックすると得点を計算して表示します。同時に、得点、学習日時、学習した回数を学習者ごとにコンピュータに記録します。この記録から学習の取り組み状況を把握することもできます。

3 「G アップシート・G ベース学習サイト」

学校や家庭から利用できる Web サイトを公開し、県内の学校・教育関係機関に「ログイン ID」「パスワード」をお知らせしております。

「解答」をクリックすると正答の場合には○を表示します

問題番号	内容	学習状況	採点
1	英語の語彙を確認しよう【1年生での学習事項】	学習中	採点を表示
2	英語の語彙を確認しよう【2年生での学習事項】	学習中	採点を表示
3	「～されます」「～させません」という意味の表現をおぼえよう	学習中	採点を表示
4	「～させます」「～させますか」という意味の表現をおぼえよう	学習中	採点を表示
5	「～を～の状態で」という意味の表現をおぼえよう	学習中	採点を表示
6	日本の文化について、簡単に説明してみよう	学習中	採点を表示
7	旅行に関する語を確認しておぼえよう	学習中	採点を表示
8	旅行に関する基本表現を確認しておぼえよう	学習中	採点を表示
9	英文を読んでみよう【旅行の】	学習中	採点を表示
10	英文を読んでみよう【旅行の】	学習中	採点を表示

3年英語科 G アップシート No.1 (Aグループ) 参考: 採点結果を記録しました 2009年11月9日(水)19時30分

【1】次の日本語が英訳する英文になるように、() 内の語が入る適切な箇所を選び、記号をクリックしなさい。

(1) English (7) is () difficult. (not) (1)be動詞がある文での否定は、be動詞 (is/am/are/must/were)の略称を not を入れます。

(2) What (2) you (2) have (2) for breakfast? (do) (2)一般動詞(be動詞、助動詞以外)を含む文の疑問文では、the verb (have/does/is/am/are)を do/does/is/am/are/are you? の形で用います。

(3) What (3) he (3) doing? He is swimming. (is) (3)be動詞を含む文の疑問文では、Am/are/I/he/you/are you? を用います。疑問詞を問はれる場合は be動詞と主語の位置が逆になります。

(4) We (4) saw (4) the (4) game today. (can) (can) 可能

(5) I (5) walked (5) the street (5) yesterday. (across) (across) 縦断

【2】次の日本語が英訳する英文になるように、() 内の語を正しく書かえて、英文を書きなさい。ただし、文頭にくる語も小文字で表していることがあります。

(1) (do / how / many) you have? → I have two dogs. (How many + 数 + 名詞 + ?) の形式になります。よから問題文は、How many dogs do you have? です。

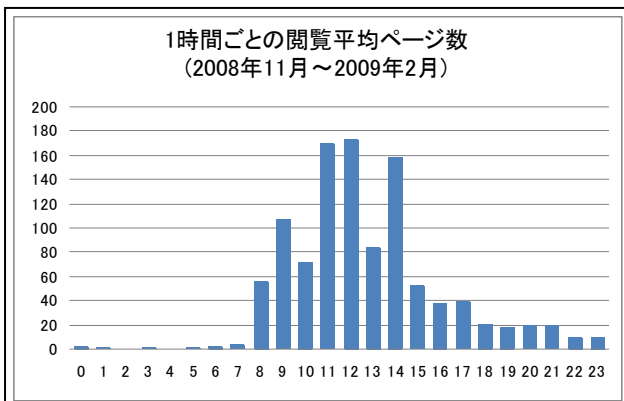
How many dogs do you have?

(2) (CD / is / whose) this? → It is mine. (is) 縦断

学校ごとのIDでログインして学習できます

問題番号	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0	未習	100点	70点	88点	100点	100点	84点	88点	100点	33点
10	未習	未習	未習	100点	未習	未習	25点	100点	100点	12点
20	100点	未習	未習	未習	未習	33点	未習	75点	未習	未習
30	未習	未習	未習	未習	40点	未習	未習	未習	未習	未習
40	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習
50	未習	100点	87点	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習
60	39点	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習
70	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習	未習

Gベースの学習履歴を一覧表で表示することができます



4 アクセスの記録から

閲覧ページのアクセス記録から、授業時間だけでなく、放課後学習や家庭学習でも利用されていると考えられます。

教員の指導力向上を目指して！ 平成21年度「所員研修会」開催

平成21年度岩手県教育研究所連盟所員研修会を、昨年度に引き続き総合教育センターで開催いたします。各教育研究所からたくさんの先生方の参加をお待ちしています。

- 1 期 日 平成21年9月7日（月）
- 2 会 場 岩手県立総合教育センター 大会議室
- 3 対 象 加盟市町村教育研究所の所員及び研究協力員、相談員等教育関係者
- 4 目 的 教師の資質向上について学び合うことをとおして研究所事業の充実に資する。
- 5 日程・内容

◎ 9月7日（月）

	12:30	13:00	13:15		14:45	14:55		16:25	16:30
	受付	開会 行事	講 演	休 憩	研 究 紹 介			閉 会 行 事	

【講 演】 講 師 岩手県立大学社会福祉学部
教授 遠山 宜哉 先生
演 題 「希望をつむぐ会話のために」

【研究紹介】 講 師 岩手県立総合教育センター 研修指導主事
演 題 「知識・技能の活用を図る学習活動について」

- 7 参加申込 別紙参加申込書により、県教育研究所連盟事務局（総合教育センター内）あてに申し込んで下さい。
不参加の場合も連絡をお願いします。
- 8 申込方法 参加申込は、別紙様式に記入のうえ、電子メールに添付して、下記事務局あてに送信願います。
メールアドレス（担当：菅原）： tyousa-r@ceter.iwate-ed.jp

◆岩手県教育研究所連盟事務局◆

岩手県立総合教育センター 企画調査担当内
住所 〒025-0395 花巻市北湯口2-82-1
Tel 0198-27-2833(直通) Fax 0198-27-3562 E-mail : tyousa-r@ceter.iwate-ed.jp